

ADONIS

# FX-7600

## フレキシブル型モービルマイクロホン 取扱説明書

このたびは、(株) エス・イー・シーの単一指向性高性能モービルマイクロホンFX-7600をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

このFX-7600は、警報音付無変調防止回路およびマイク出力調整機能を備えた単一指向性高性能モービルマイクロホンです。ご使用に際しましては、本機の性能を十分に発揮させていただき、この説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は保証書と共用になりますので、お読みになった後も大切に保管してください。

### ★いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください★

**警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 警告 当製品は車の運転の妨げにならない場所に取り付け、製品がはずれたり、コード類がハンドルに絡まったりしないようにしてください。
- 警告 指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 警告 電源コードや接続コードを傷つけたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 警告 改造、分解、修理はしないでください。火災、感電、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店または、弊社にお申し付けくださいますようお願い申し上げます。

**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 注意 弊社製以外のマイク変換コードを使用すると正しく動作しない場合がありますので、必ず弊社製を使用してください。弊社製以外の変換コードのご使用によるトラブル・故障等につきましては一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 注意 コード類は無理に引っ張ったり巻き付けたりしないでください。ショート、故障の原因となります。プラグやジャックを抜き差しするときは、プラグやジャックを持って行ってください。
- 注意 マイクロホンのフレキシブルパイプは、無理に曲げないでください。けが、故障の原因となります。
- 注意 製品は水に濡らしたり、水に濡れたりする場所への取り付けはしないでください。ショート、故障の原因となります。
- 注意 当製品は緊急通信や非常通信用途には設計されておりませんのでご承知おきください。

### ★ご注意とお願い★

- マイクロホンには必ず風防を取付けて使用してください。
- QSO中や出力レベルの調整を行う時には、マイクロホンを叩いたりしないでください。
- ご使用になるトランシーバーおよびアンテナの取付方法や場所、取扱電力等によっては回り込みを起こして、ご使用になれない場合がありますのでご了承ください。
- 直射日光のあたる場所や高音になる場所での使用および放置は、変形・変質を招き本製品に悪い影響を与えますので工夫して高音を避けるようにしてください。
- 性能改善のため、予告なく仕様およびデザイン等を変更する場合があります。

### ★アフターサービスについて★

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが万一運搬中の事故などに伴い、ご不審な箇所または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買い上げいただいた販売店、または弊社に保証書を添えてお申し付けくださいますようお願い申し上げます。

### ◎回り込み対策について

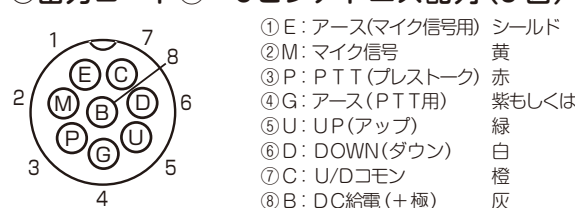
ローパワーで送信すれば正常であるのに、ハイパワーで送信した場合に変調が異常になったりバリバリという音が混入したり、その他の雑音(マイクに直接入るエンジン音ではありません)が増すことがあります。その場合アンテナと同軸ケーブルの調整が悪く、定在波がマイクコードに乗ることが考えられます。従って、マイクコードの引き回し方を変えると良くなる場合があります。特に同軸ケーブルと平行にしないようにしてください。また、アンテナと無線機とのSWRをチェックしてみてください。

- 車載バッテリー(DC12V)から電源を供給するより、無線機のマイクコネクターから電源を供給する方が回り込みに対しては有利です。無線機のマイクコネクターから電源を供給する場合、電源供給線⑩は接続しないでください。

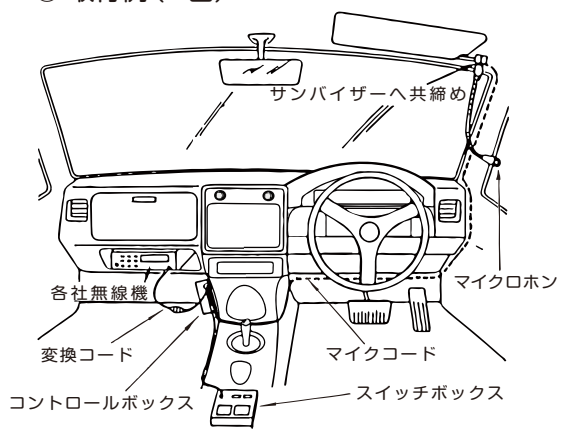
### ◎⑩電源供給用コネクターの接続方法(1図)



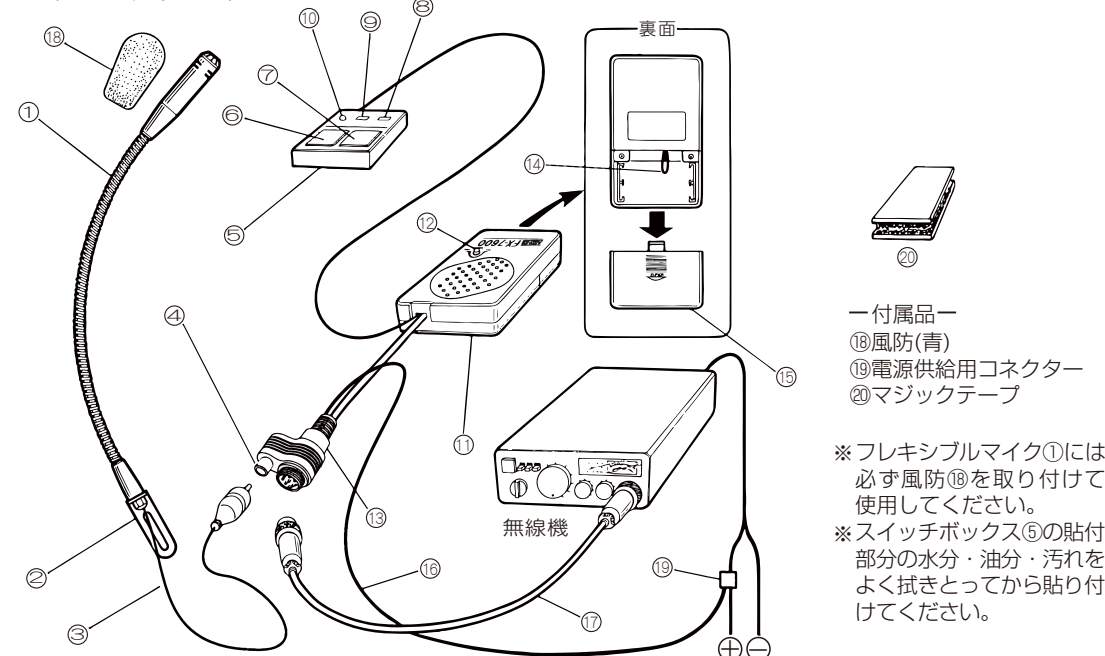
### ◎出力コード⑬ 8ピンアドニス配列(3図)



### ◎取付例(2図)



### ◎各部の説明(4図)



- ①フレキシブルマイク
- ②止め金具
- ③ピンプラグ付マイクコード
- ④マイク入力ピンジャック
- ⑤スイッチボックス
- ⑥PTTスイッチ
- ⑦LOCKスイッチ
- ⑧UPスイッチ
- ⑨DOWNスイッチ
- ⑩送信表示ランプ
- ⑪コントロールボックス
- ⑫出力調整ボリューム
- ⑬8P中継ジャック(入出力コード)
- ⑭無変調防止回路解除リード線
- ⑮裏布タ
- ⑯電源供給線
- ⑰マイク変換コード(弊社製別売)

一付属品  
⑱風防(青)  
⑲電源供給用コネクター  
⑳マジックテープ

※フレキシブルマイク①には必ず風防⑱を取り付けて使用してください。  
※スイッチボックス⑤の貼付部分の水分・油分・汚れをよく拭きとってから貼り付けてください。

### ◎取付方法および接続方法

- フレキシブルマイク①の止め金具②を、サンバイザーと共締めするか、適当な場所へ工夫して取付けてください。次に、スイッチボックス⑤は、裏側の剥離紙をはがし、チェンジレバー付近など比較的操作のしやすい運転のさまたげにならない場所に貼り付けてください。
- コントロールボックス⑪から出ているマイク入力ピンジャック④に、ピンプラグ付マイクコード③を差し込んでください。
- ご使用の無線機に適合したマイク変換コード(弊社製別売)⑰を入出力コードの8P中継ジャック⑬と無線機の間に接続してください。(マイク変換コード⑰には方向性がありますので、ご確認の上間違わないように接続してください。)コントロールボックス⑪は運転の妨げにならない場所に、付属のマジックテープ⑳を使用して固定してください。
- 右ページの「◎電源供給について」欄を参照し、本機に電源を供給してください。

### ◎ご使用方法

- PTTスイッチ⑥を押した瞬間に“ピッ”という音が出て、押している間だけ送信表示ランプ⑩が点灯し、送信状態になります。離すと受信状態に戻ります。ショートQSO時に使用すると便利です。また、LOCK(連続送信状態)を解除したい時に使用します。
- LOCKスイッチ⑦を押すと“ピー”という音が出て送信表示ランプ⑩が連続点灯し、連続送信状態になります。PTTスイッチ⑥を押して、離れた時に受信状態に戻ります。
- UPスイッチ⑧およびDOWNスイッチ⑨は、無線機付属のマイクロホンのUP・DOWNスイッチと同じ動作をします。(詳しくは、無線機の取扱説明書をお読みください。)
- マイク部の先端から口元までの距離が10cm以内になるようにしてご使用ください。
- 出力レベルの設定は、適正なレベルになるように調整されていますが、変調が深すぎたり浅すぎたりする場合には、下記の要領にて適正なレベルになるように調整してください。  
出力調整ボリューム⑫を右(時計回り)に回すと出力は増加し、左(反時計回り)に回すと減少します。ローカル局にモニターしてもらいながら、5図に表示してある回転範囲内をマイナスドライバーで静かに回して調整してください。(左右に約140度しか回りません。) 回し過ぎますと、破損する恐れがありますので十分注意してください。なお、5図の位置でほぼ中央になります。

### (5図)



### ◎無変調防止回路について

- LOCKスイッチ⑦が不用意に作動した場合、または通常の交信においても、送信状態が約2分30秒続けばアラーム回路が動作し、警報音が約30秒間鳴った後、自動的に受信状態に戻ります。警報音を止めて続けて送信したい場合は、もう一度LOCKスイッチ⑦を押してください。
- 無変調防止回路を解除したいときは、無変調防止回路解除リード線⑭を切断してください。

### ◎電源供給について

- 無線機のマイクコネクターから電源を供給する場合  
無線機のマイクロホン端子に、電源(DC5~10V・10mA)を供給している無線機で運用する場合は、電源供給型マイク変換コード“Dシリーズ”(弊社製別売)で接続すると、電源供給線⑩の配線が不要になります。(詳しくは、弊社製マイク変換コードおよびご使用の無線機の取扱説明書をお読みください。)
- 車載バッテリー(DC12V)で電源を供給する場合(1図参照)  
電源供給線⑩を付属の電源供給用コネクター⑲で無線機の電源の⊕側に接続してください。